

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和5年度取組結果】

団体名	公益財団法人 アジア成長研究所
-----	-----------------

所管課	政策局 国際政策課
-----	-----------

団体に対するミッション
<p>地元貢献を重視した日本を代表するアジア研究機関を実現するため、地域への知的貢献と国際水準の知的基盤の強化を目的とする活動を行う。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>本市がアジアの中核的な産業都市として持続的な成長を実現するため、今後、アジア諸国の先進事例研究などの活動を推進し、研究成果を積極的に公表し、広報活動を強化する。 また、客観的な成果指標を策定し、26年度から3年間、その成果を評価し、その結果によっては、大学等との統合又は廃止を検討する。</p>

ミッションに基づく中期計画

3~5年後に目指す状態	<p>(1) 地域貢献：市や実業界から政策や戦略決定上、有益なシンクタンクとして認知される。 (2) 学術：RePEc (Research Papers in Economics) 格付けの日本国内研究機関の九州内上位3位内を維持する。</p>
-------------	--

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績 (太枠は最終目標年度)							
	R1	R2	R3	R4	R5		R6	R7
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標
市政・企業活動に貢献する調査研究件数	3件	3件	5件	5件	3件	8件	5件	/
成長戦略フォーラム参加者の満足度「良かった」の割合	93%	97%	92%	98%	90%	100%	90%	
著名な学術雑誌への論文掲載数	4本	5本	5本	5本	5本	5本	5本	
第3者による研究内容の評価 (RePEc九州上位3位以内)	-	2位	2位	2位	RePEc九州上位3位内	2位	RePEc九州上位3位内	

※RePEc=Research Papers in Economics (米国)
世界81カ国の40,000人を超える研究者が登録する経済研究論文データベースサイト (2014年11月現在の登録数=42,367人の研究者及び6,724の所属研究機関)。論文引用数を含む31項目の異なる基準により、登録者の研究内容を客観評価し、毎月ランキング (地域別、国別等) を発表している。

ミッションの遂行状況の評価 (令和5年度)

<p>団体における評価</p>	<p>市に対しては受託研究やコンサル等を、市民・企業に対しては高い満足度のセミナーの提供等を行い、地元貢献を推進した。また学術研究活動においては、国際学会開催や新規連携機関の開拓等、海外の研究機関との連携も強化した。研究成果の著名雑誌への掲載、国際的評価指数等から見ても、国内外で高評価を受けている。</p>	<p>市の評価</p>	<p>市からのミッションである“地元貢献”の指標の市政・企業活動に貢献する調査研究件数も市新ビジョン関連を含み件数増、市民向け講座開催数も目標を上回った。“学術面”でも、国際学会誘致や積極的な研究交流を行い、学術的な国際評価においても九州2位となる等、目標を達成した。</p>		
<p>今後の課題及び見直し内容 (案)</p>	/		<p>団体への改善指導内容 (案)</p>	/	

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	特に具体的な成果が求められ、成果が見られなければ統廃合を検討する団体
<p>平成26年度から3年間の総合評価の結果、概ね高水準で目標を達成していたため現状の体制を維持することとなった。 令和3年度から開始した中期計画 (R3~R7年度) も折り返しに入り、更なる国際水準の知的基盤の強化及びより一層の地域への知的貢献活動の強化を推進していく。</p>	

ミッションに基づく具体的取組み（令和5年度）										
	目的（目指す状態）					活動計画（どうやって目的を達成するか）				
1	研究活動を通じて、本市の活性化や政策立案に貢献する					①市の政策に関する提言を推進し、研究活動の地元経済界への貢献を図る ②研究成果に関する市民・企業への情報発信を強化する				
	成果指標	R3年度実績	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	活動指標	R3年度実績	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績
	① 市政・企業活動に貢献する調査研究件数	5件	5件	3件	8件	① 市の政策委員会等への参画数	1件	1件	2件	1件
	② 成長戦略フォーラム参加者の満足度アンケート結果「良かった」の割合	92%	98%	90%	100%	② 地域と外部関連機関等とのネットワーク構築数	8件	7件	5件	6件
	③ 成長戦略フォーラムの企業関係者参加割合	49%	29%	40%	38%	③ 成長戦略フォーラム等市民・企業向け講座、セミナー、研究会の開催数	11回	13回	10回	13回
					④ メルマガ会員数	530名	527名	530名	533名	
2	アジア研究を推進し、日本・アジアの政策立案に貢献し、日本を代表する研究機関を目指す。					①国内外の研究機関との連携によるプロジェクト研究を拡充する ②研究成果を公表する（当研究所の知名度向上） ③外部評価制度を導入する（学術レベル評価）				
	成果指標	R3年度実績	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	活動指標	R3年度実績	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績
	① 著名な学術雑誌への論文掲載数	5本	5本	5本	5本	① 調査研究数（調査報告書作成数）	10本	13本	10本	15本
	② 国際機関、内外の大学・研究機関における役員等就任数	10件	11件	10件	12件	② 海外研究機関等との研究協力・連携	10回	13回	10回	17回
	③ 科学研究費を含む外部資金獲得数	5件	8件	6件	10件	③ 研究者向け研究会の開催	9回	9回	10回	10回
④ 第三者による研究内容の評価（RePEc九州内上位3位内）	2位	2位	RePEc九州上位3位内	2位	④ 国内外学会等での研究発表数	40回	53回	30回	48回	
					⑤ 外部評価委員会の開催	実施	実施	実施	実施	